



群馬中央病院の理念

4つの心

人権尊重の心 | 人間愛の心 | 奉仕の心 | 向上心

群馬中央病院の基本方針

人権の尊重と人間愛を基本とした医療・介護を行い、
地域の方々の健康と福祉の増進に寄与する。

地域医療・地域包括ケア・介護の連携の要として、
超高齢化社会における多様なニーズに応え、
安全・安心・信頼を要とした医療と介護を提供する。

地域の医療・福祉機関との連携を密にし、
地域医療における中核病院としての使命と役割を担う。

透明性が高く自立的な運営のもと、
常に医療・介護水準の向上に努める。

ごあいさつ

■ 院長兼地域医療連携センター長

内藤 浩



連携だよりをお届けいたします。

前号をお届けしたところから、新型コロナウイルス第5波が猛威をふるい8月には群馬県で連日新たに300人を超える感染者が発生していました。当院でもコロナ病棟を開設して対応に当たっていますが、最近はようやく落ち着きを取り戻してきました。

第5波の特徴は、小児の感染も珍しくなくなったことです。当院の強味の一つは、小児科が充実していることですが、コロナ感染に関しては、内科の先生に加え小児科の先生方も積極的に対応してくれ、地域に貢献できていると自負しています。

このまま第6波が来ないことを祈っていますが、注意深く推移を見守っていきたくと存じます。

10月1日から、糖尿病センターが医師2名体制になりました。

糖尿病は、予備軍を入れると2000万人の人々が対象となるといわれています。今後の超高齢化社会を乗り切るために、糖尿病の予防や治療は極めて大きな意味を持っています。

糖尿病センターでは、登録医の先生方と連携することで、一人でも多くの患者さんに質の高い糖尿病治療を提供してまいりたいと考え、また実践しております。詳細については次号で特集したいと考えております。

コロナに翻弄された2021年もあと2か月ちょっとで終わります。一日も早く日常を取り戻せることを切に願いながら、地域へのより一層の貢献を考えてまいります。

群馬中央病院 初期臨床プログラムって？



現在の初期臨床研修制度は平成 16 年 4 月から始まり、それまでの臨床研修制度とは大きく様変わりしました。群馬中央病院では翌年の平成 17 年 4 月から基幹型臨床研修病院として研修を開始しました。

研修制度は定期的に見直しが行われ、令和 2 年度からは初診患者の診療及び慢性疾患の継続診療を含む一般外来研修が必修科目となり、より地域に密着した研修医教育を行っております。

当院の大きな特徴としては通常の研修である一般プログラムの他に小児科・産婦人科重点プログラムがあります。周産期に特化したプログラムがある市中病院は全国でも数少なく群馬県では当院のみとなっています。また、一般プログラムでは毎年研修医からの意見を参考にプログラムのブラッシュアップを繰り返しており、現在までに多くの研修医を育てております。

一般プログラム責任者 湯浅消化器内科部長

平素より当院の地域医療連携にご協力いただきありがとうございます。

初期臨床研修は、医療人としての基本的姿勢を築き、医師として将来どの診療科の専門医となっても必要な知識、技術を学ぶための重要な 2 年間と捉えています。当院では研修医教育を病院の一大事業として、医師だけでなくコメディカルを含めた病院全体で人材育成に力を注いでいます。毎年研修医を受け入れることで病院には新しい風が吹き込まれ、上級医も研修医を指導することで新しい知識をアップデートし自身の臨床力を向上することができます。このことは群馬中央病院の発展、そしてより良い地域づくりに結びついていくと考えております。当院は地域における急性期中核病院、二次救急医療機関であり、いわゆる common disease から高度な専門医療まで数多くの疾患を経験できます。一症例一症例の経験をおさなりにせず日々の診療に臨み、研修医が地域医療に貢献できる次世代の良医と成長できるように全力でサポートしていきたいと思っております。

引き続き今後ともご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



小児科・産婦人科重点プログラム責任者 伊藤副院長

小児科産婦人科重点プログラムは、将来周産期医療をになう小児科医、産婦人科医を目指す医師を育成するためのプログラムです。少数精鋭主義で、多くの医療スタッフと顔の見える研修が行え、一人ひとりに行き届いたきめ細かい指導体制をとっています。



当院は、地域医療に留まらず、地域周産期母子センターの一翼を担っており専門性の高い周産期医療を提供するため、小児科・産婦人科は密な連携を図りながら、シームレスな診療を行っています。小児科は、一般小児診療だけでなく循環器や神経発達、新生児、アレルギーの専門的指導を受けられる体制となっています。NICU については大学病院にて、より専門的な研修ができる期間を設けています。産婦人科については県内の研修施設の中でトップクラスの分娩数であり、異常妊娠、合併症妊娠などの多くを経験できます。研修施設では大学以外では唯一生殖医療を学ぶこともできます。また、腹腔鏡手術などの婦人科診療、思春期、更年期、性同一性障害など女性医学分野など、どの年代の女性・分野についても網羅的に経験できる研修となっています。



挿管勉強会



助手としてオペに参加



研修医の自主勉強会



小児工コー研修

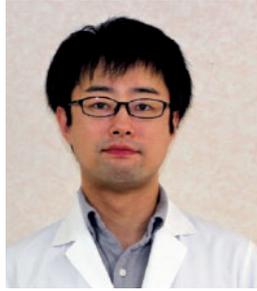
群馬中央病院でこんなこと学んでいます



一般プログラム 2年 吉田 研修医

群馬中央病院の初期研修は研修医の数が多くなく、個々の希望にあわせてよりよい研修になるようにご配慮いただいております。そのためメリハリのある充実した研修ができています。

私は先日地域医療の選択実習をたき医院で学ばせていただきました。マダニ咬傷から水疱性類天疱瘡と来院する患者さんの疾患は様々でした。緊急性の高いものや稀な疾患が最初から大きな病院に来るわけではないことを改めて実感しました。初めての経験が多い中ひとつひとつ丁寧に指導いただいたため段々と身になっていくことが実感できた研修となりとても感謝しています。地域医療連携の一環として地域の診療所の実状を学ぶことはとてもいい経験になると思います。



小児科・産婦人科重点プログラム 2年 宇津木 研修医

私は現在小児科産婦人科重点プログラムを選択しています。学生のうちに産婦人科医を志し、産婦人科に強い病院で研修したいと思い、当院に関心を持ちました。当プログラムでは当院だけでなく、群大 NICU やヒルズレディースクリニックにおける研修が可能です。合併妊娠や既往帝切などだけでなく、正常のお産も多く見ることが可能です。研修病院で学ぶ疾患だけでなく、コモンな病態や患者の私生活に地域診療所で触れることは今後の医師としての人生で大きな糧になると考えます。

今後は一般のお産から婦人科手術、生殖医療と広く学び、多くの先生とともに群馬の産婦人科医療を支えていきたいと考えています。



一般プログラム 1年 齋藤 研修医

私は高崎市出身で、ずっと地元である群馬の医療に貢献したいという思いがあり群馬大学に進学しました。

現在は産婦人科を志望し、群馬中央病院で初期研修を行っています。将来産婦人科を志望しているからこそ、この2年間はそれ以外の診療科で研修し幅広い知識を身に付けたいと思い、一般プログラムを選びました。産婦人科は思春期に始まり、妊娠、出産、高齢期と女性の生涯を通して関わらせていただく科です。知識や技術があるのはもちろんのこと、常に患者さんやご家族の方に寄り添い、何でも相談してもらえそうな、そんな医師になりたいと思います。

まだ医師になって半年の未熟者ですが、群中の研修で多くのことを吸収していきたいです。



小児科・産婦人科重点プログラム 1年 山下 研修医

こんにちは！小児産婦重点プログラム1年山下です。4月産婦人科からスタートし、6月から希望診療科である小児科を経て8月から循環器内科でお世話になっております。産婦人科ではお産を見たり帝王切開の助手に入ったりしました。小児科では産婦人科で出会ったお母さん方の大事な赤ちゃんを預かり成長の喜びを感じることができました。また様々な社会背景を持つお子さんやご家族と関わる機会も得られました。循環器内科では実際に自分で処方や検査をオーダーする機会が増えて医師としての責任を痛感する日々です。

今後も多くの方々に助けられながらではありますが地域に貢献できるように研修に励んでいきます。



オンラインでの学会発表



コメディカルによる勉強会



内視鏡練習



QRコードで動画が見られます

発熱患者さんの対応について

当院では、かかりつけ医の先生方からの紹介患者さんで、37.5℃以上の熱のある方、入院加療が必要な方につきまして、必要に応じてPCR検査を実施しております。

そのため、感染予防対策として、患者さんより連携室へ病院到着の連絡を頂いております。

他の患者さんとの接触をなるべく少なくし、検査を速やかに行うための対応ですので、ご理解とご協力をお願い致します。



到着時連絡先

027-223-1373 (地域医療連携室 直通) 8:30 ~ 18:00

連携室よりお伺いする内容

- ・患者氏名
- ・車種(色) ナンバー 患者(または付添家族)の携帯番号



新型コロナ陽性患者さんの受入体制について

院内にてコロナ病棟開設に向けての作業部会をたちあげ、それぞれの専門領域で準備を開始し、2021年9月13日より、新型コロナ陽性者の受け入れを開始しております。

入院依頼は県の入退院調整センターからの連絡にて、調整します。

(当院でPCR陽性が確定した方も、調整センターを通して受入先を決定します)

紹介患者さんの受入は今まで通りお引き受けできるよう、鋭意努力し連携室一丸となって対応致します。

市民健康医学講座を開催いたしました

開催日 2021年7月22日(木)
14時00分～16時00分

- 第1部** 『いまできる感染対策のおはなし』
感染管理認定看護師 宮前 正憲
- 第2部** 『群馬中央病院の上手なつかい方』
地域医療連携センター長補佐 谷 賢実
- 第3部** 『健康で長生き ～がんやコロナを含めて～』
院長 内藤 浩

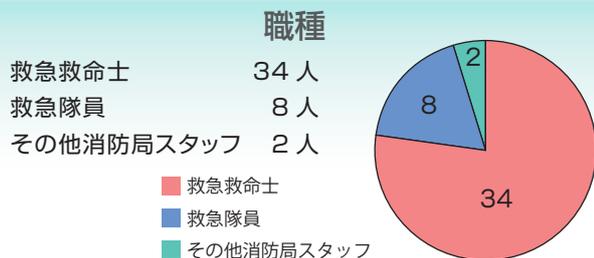
今後聞いてみたい講演の内容はありますか？



第2回救急医療研修会（産婦人科）開催しました

テーマ いま聞いておきたい産科・婦人科救急の疑問

JCHO 群馬中央病院 産婦人科医長 矢崎 淳



参加したい検討会の対象診療科

内科	13人	整形外科	15人
小児科	19人	その他	3人
産婦人科	3人	(消化器科・精神科・神経内科)	
外科	15人		

内容は、業務や研鑽に活用できますか？

大変できる	16人
できる	27人
あまりできない	1人
できない	0人



その他ご意見、ご感想

- 大変参考になりました。今後の活動に生かしていきたいです。
- 実技を伴う研修ができればより現場に結びついた研修となり、職員のスキルアップに繋がると感じます。

がん免疫薬物療法マネジメントセミナー in 関東

日本臨床腫瘍学会が主催する『がん免疫薬物療法マネジメントセミナー in 関東』に、医師・看護師・薬剤師による群馬中央病院化学療法チームとして参加しました。コロナ禍でのZOOMを利用したWEB開催でしたが、免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象(irAE)の事例を通じて他施設とディスカッションや情報交換ができ、有意義で刺激的な時間を過ごせました。今後の診療に生かせるよう多職種連携、地域連携を進めていきたいと思っております。



診療科・曜日		月	火	水	木	金	
内科	総合内科(初診)	午前	齋藤 勇一郎	小保方 優・阿久澤 暢洋	今井 邦彦・阿久澤 暢洋	北原 陽之助	佐藤 浩子・阿久澤 暢洋
	一般(予約)	午前		阿久澤 暢洋	田嶋(糖尿病)・阿久澤	今井(循環器)・田嶋(糖尿病)	阿久澤 暢洋 長谷川 典子
		午後	今井(循環器)・田嶋(糖尿病)	北原 陽之助(循環器)	今井 邦彦(糖尿病)	大山 啓太	田嶋 久美子(糖尿病)
	循環器内科(予約)	午前	羽鳥 貴・吉田 尊	羽鳥 貴	吉田 尊	須賀 俊博	
		午後	田村 峻太郎(不整脈2・4週)	須賀 俊博			羽鳥 貴
呼吸器科(予約)	午後	武藤 壮平	申 悠樹	解良 恭一	小池 陽子	蜂須 克昌	
和漢診療科		午前	小暮 敏明	小暮 敏明	小暮 敏明	小暮 敏明・山本 佳乃子	小暮 敏明
		午後	小暮 敏明		小暮 敏明(リウマチ)	小暮 敏明	
神経内科(予約)		午前	大沢 天使	清水 千聖			大沢 天使
		午後	金子 由夏	清水 千聖	大沢 天使		
消化器内科	初診	午前	堀内 克彦	田原 博貴		湯浅 和久	
	予約	午前		小川 綾	堀内 克彦・小川 綾		湯浅 和久・堀内 克彦
午後				田原 博貴	岡村 亜弓		
糖尿病センター(予約)		午前	根岸 真由美・須賀 俊博	根岸 真由美・有山 泰代	中島 康代	中島 康代	根岸 真由美・登丸 琢也
		午後		中島 康代 フットケア		根岸 真由美	
小児科	一般	午前	河野 美幸・田代 雅彦	須永 康夫・田代 雅彦	水野 隆久・田代 雅彦	須永 康夫・小笠原	須永 康夫・河野 美幸
		午後(予約)	橋本 真理(神経専門)		平形(専門1・3・4・5週) 田代(循環器)新井(専門2週)	田代 雅彦(循環器)	
	神経発達(予約)	午前	須永 康夫		須永 康夫		
		午後	須永 康夫	須永 康夫	須永 康夫		須永 康夫・春日 夏那子
	アレルギー(予約)	午前					水野 隆久
	午後	水野 隆久			水野 隆久	水野 隆久	
	腎臓(予約)	午後				高木 陽子	小笠原 聡
	発達フォロー(予約)	午後		河野 美幸	河野 美幸	河野 美幸	
乳児健診(予約)	午後	春日 夏那子・平形 絢子	春日/平形・小柳/清水				
予防注射(予約)	午後			江原 由佳子・川上 千紗			
外科	一般・消化器	午前	内藤 浩・深澤 孝晴 高橋 宏一	福地 稔・谷 賢実 篠原 正樹・調 憲 (肝・胆・膵)【紹介】	福地 稔・斎藤 加奈 西川 達也・阿部 知伸 (心臓血管外科)	内藤 浩・深澤 孝晴 渡辺 亮(肝・胆・膵)	斎藤 加奈・高橋 宏一 田部 雄一
		午後(予約)		山口 玲 (脳神経外科14:00～)		大瀧 容一(呼吸器外科) 長嶋 起久雄(緩和ケア外科)	
	乳腺・甲状腺(紹介)	午前				矢島 玲奈	
午後	藤井 孝明 (14:00～17:00)						
整形外科	午前	寺内 正紀(膝) 堤 智史(脊椎) 中川 由美(脊椎) 中島 飛志(脊椎)	寺内 正紀(膝) 中島 飛志(脊椎) 畑山 和久(膝) 下山 大輔(一般)	中川 由美(脊椎) 畑山 和久(膝) 下山 大輔(一般)	堤 智史(脊椎) 中川 由美(脊椎) 中島 飛志(脊椎)	寺内 正紀(膝) 畑山 和久(膝) 堤 智史(脊椎) 下山 大輔(一般) 畑山 和久(膝) (第1・第3金曜日)	
	午後(予約)						
産婦人科	一般	午前	伊藤 理廣・金井 真理	北原 慈和・伊藤 理廣 (8:30～10:00)	太田 克人・矢崎 淳	伊藤 理廣(不妊不育) 太田 克人・田村 美樹	伊藤 理廣・安部 和子
		午後(予約)	太田 克人(検査)	金井 真理 手術	太田 克人 矢崎 淳(産後)	伊藤 理廣(術前)	太田 克人(検査) 安部 和子
	妊婦健診	午前	田村 美樹	安部 和子	森田 晶人(8:30～10:00) 伊藤 理廣(10:00～)	矢崎 淳	岡庭 隼
午後(予約)		田村 美樹		伊藤 理廣 (13:00～14:30)	篠崎 博光(ハイリスク)		
眼科	午前	前嶋 京子	前嶋 京子	前嶋 京子	前嶋 京子	前嶋 京子	
耳鼻咽喉科(予約)	午前	工藤 毅・内山 通宏	工藤 毅・内山 通宏	内山 通宏	工藤 毅(紹介) 内山 通宏(紹介)	工藤 毅・内山 通宏	
	午後	検査	内山 通宏(嚥下) 竹越 哲男	塚田 晴代(検査)		内山 通宏(嚥下)	
麻酔科	午前	大川	川崎	富岡	高橋	富岡	
皮膚科	午前	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	
	午後(予約)				龍崎 圭一郎		
泌尿器科	午前			羽鳥			
歯科(予約)	午前・午後	平林 晋	平林 晋	平林 晋	平林 晋	平林 晋	

【ご案内】①医療機関等からの紹介状をお持ちの方は、できるだけ事前に予約して頂くようお願いいたします。(平日 8:30～18:00)

*詳細についてはホームページをご確認下さい。

連携室直通電話：027-223-1373 FAX：027-223-1374

②一部の診療科については予約制、紹介型外来等を行っております。

◎予約制外来……原則、午後は和漢診療科以外の診療科は予約制となっております。終日予約(神経内科、耳鼻咽喉科、歯科、禁煙外来)

◎紹介型外来……乳腺・甲状腺(月曜日の午後・木曜日の午前)、耳鼻咽喉科(木曜日の午前)、脳神経外科(火曜日の午後)

③その他

・消化器内科は、水曜日と金曜日は予約外来のみとなっております。

・整形外科は、月曜日と金曜日の初診受付については、紹介状持参患者のみとなっております。

・総合内科は、初診・紹介状持参患者のみとなっております。

・緩和ケア(精神科)は、他科からの紹介患者のみ外来診療を行っております。

(第1・3・5週木曜日の午後 須田 第2・4週金曜日の午後 井上)

診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

受付時間
8:30～18:00
土・日・祝日は除く

TEL **027-223-1373** [直通]
FAX **027-223-1374** [直通]

独立行政法人 地域医療機能推進機構

群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号 TEL 027-221-8165 FAX 027-224-1415

ホームページ <http://gunma.jcho.go.jp/> フェイスブック <https://www.facebook.com/gunmatyoubyoujin/>

